

報道関係各位

三井不動産株式会社

～三井不動産グループの ESG 経営推進加速の一環として～
「グリーンボンド」条件決定のお知らせ

三井不動産株式会社(本社:東京都中央区 代表取締役社長:菰田正信 以下、当社)は、東京都中央区日本橋室町三丁目に2019年3月に竣工した「日本橋室町三井タワー(日本橋室町三丁目地区第一種市街地再開発事業 A 地区)」の保留床取得資金のリファイナンスを用途とするグリーンボンド※1について本日条件決定したことをお知らせします。

※1 調達資金の用途を環境改善効果のある事業(グリーンプロジェクト)に限定して発行される債券。

1. 本発行の目的及び背景

三井不動産グループの ESG に関する方針について幅広いステークホルダーの皆さまに一層認知していただくという目的に加え、昨年度策定したグループ長期経営方針「VISION 2025」において定めた6つの重点的に取り組むべき目標※2 について課題解決に向けた活動を促進し、持続可能な社会の実現に資する取り組みとして、グリーンボンドを発行致します。

※2 当社の ESG に関する取り組みは以下の当社ホームページに掲載されています。

<https://mitsuifudosan.co.jp/corporate/esg/csr/>

2. 本発行の概要

名称	三井不動産株式会社 第 68 回無担保社債(社債間限定同順位特約付)(グリーンボンド)
発行日	2019年9月12日
条件決定日	2019年9月6日
発行年限	5年
発行額	500億円
利率	0.09%
資金用途	全額を「日本橋室町三井タワー(日本橋室町三丁目地区第一種市街地再開発事業 A 地区)」の保留床取得資金のリファイナンス資金として充当予定
主幹事	野村證券株式会社、SMBC 日興証券株式会社、大和証券株式会社、みずほ証券株式会社、三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社
Green Bond Structuring Agent※3	野村證券株式会社、SMBC 日興証券株式会社
取得格付	AA-(株式会社格付投資情報センター)、AA(株式会社日本格付研究所)

セカンドオピニオン※4	株式会社格付投資情報センター（以下、R&I）より、「R&Iグリーンボンドアセスメント※5」において、当該フレームワークが「グリーンボンド原則 2018」および「グリーンボンドガイドライン 2017 年版」に適合する旨のセカンドオピニオン、及び最上位評価である「GA1」の本評価を取得
-------------	---

※3 グリーンボンドのフレームワークの策定およびセカンドオピニオン取得の助言等を通じて、グリーンボンドの発行支援を行う者。

※4 当該グリーンボンドフレームワークが「グリーンボンド原則 2018」および「グリーンボンドガイドライン 2017 年版」に適合する旨のセカンドオピニオンの取得に関する詳細は以下のR&Iのホームページに掲載されています。

https://www.r-i.co.jp/rating/products/green_bond/index.html

※5 グリーンボンド発行による調達資金が、環境問題の解決に資する事業に投資される程度を、グリーンボンド原則に掲げられた項目を含む評価基準に従って 5 段階の符号で評価し、債券の償還までモニタリングを行うもの。それに付随してグリーンボンドフレームワークに関するセカンドオピニオンを提供することがあり、発行体が定めるグリーンボンドのフレームワークが、グリーンボンド原則等に則しているかを評価します。

3. 本発行への投資表明投資家

本発行への投資を表明していただいている投資家をご紹介します（2019 年 9 月 6 日現在、五十音順）。

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| ・アセットマネジメント One 株式会社 | ・株式会社愛知銀行 |
| ・株式会社滋賀銀行 | ・株式会社セブン銀行 |
| ・株式会社名古屋銀行 | ・株式会社北陸銀行 |
| ・株式会社三菱 UFJ 銀行 | ・株式会社もみじ銀行 |
| ・北おおさか信用金庫 | ・大東京信用組合 |
| ・豊田信用金庫 | ・日本私立学校振興・共済事業団 |
| ・日本生命保険相互会社 | ・飯能信用金庫 |
| ・ブラックロック・ジャパン株式会社 | ・三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社 |
| ・三菱UFJ信託銀行株式会社 | ・明治安田生命保険相互会社 |

